

# 病虫害発生予察指導情報

## ( ナシ・クワコナカイガラムシ No. 1 )

平成29年5月2日  
鳥取県病虫害防除所

### 1. 情報の内容

クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化開始は、平年より3日早い4月30日(平年:5月3日)に認められました。昨年、果実被害が多く認められた園では防除を徹底して下さい。

### 2. 情報の根拠

(1) クワコナカイガラムシ卵のうからの越冬世代幼虫のふ化\*開始は、平年より3日早い4月30日(平年:5月3日)に認められた。

(2) 今後の気象経過などから、越冬世代幼虫のふ化最盛日は5月7日前後(平年:5月10日)と見込まれる。

\*クワコナカイガラムシ越冬卵からのふ化は、百葉箱内(園試)で観察。越冬卵をシャーレ中央に静置し、越冬卵周囲に粘着物質を塗布、その粘着物質に捕獲された幼虫数を計数。

### 3. 防除上注意すべき事項

(1) 昨年被害の多かった園では、必ず2回防除を行う。特に、越冬世代は、第1世代及び第2世代よりふ化時期が揃いやすいので防除を徹底する。

(2) 昨年度多発した園等では、5~7日間隔で以下の時期を目安に2回の防除を行う。

・ 幼虫ふ化最盛期      5月    7 ~    11日

・ 幼虫ふ化終期        5月   12 ~   16日

(3) 薬剤はスプラサイド水和剤1,500倍液、アプロード水和剤1,000倍液などを使用する。

(4) 薬剤の散布にあたっては、クワコナカイガラムシが集合する枝葉の他、枝の切り口及び粗皮下などに薬剤が十分かかるようにする。

(5) 農薬の散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守する。